

第8回 Communicative Musicality 研究会

歌と語りの地域差・地域性 — 方言学的視点から

と き／2019年9月26日(木) 17時30分～19時30分
場 所／名古屋市立大学 滝子(山の畑)キャンパス1号館
2階 音楽室

話題提供／椎名渉子(人間文化研究科 / 日本語学、方言学専門)

※参加費無料、申込不要です。

人々の生活とともにあった子守歌は、各地で仕事唄としても歌われてきました。それらが示す地域に根付いた発想、ものの見方、表現とはどのようなものでしょうか。また、地域の価値観、思考がどのようにこれらの歌には反映されているのでしょうか。今回の研究会では、方言学・日本語学の見地から、口承文芸としての子守歌詞章を読み解くことを中心に、歌と語りの多様性と普遍性について見ていきたいと思えます。さまざまな分野のみなさまと、多角的な視点から議論できますことを楽しみにしております。(椎名渉子)

Communicative Musicality 研究会は、人や生物の生命事象の中の「音楽性」をさがす勉強会です。音楽と生命との関係に関心のある方、どなたでも、お気軽にご参加ください。

研究会参考文献／Communicative Musicality: Exploring the Basis of Human Companionship.(2009) Oxford Univ. Press. (『絆の音楽性』根ヶ山光一ほか監訳、音楽之友社、2018)

問い合わせ／野村直樹
名古屋市立大学大学院人間文化研究科
<052>872-5166 (526 研究室直通)
[e-mail:nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp](mailto:nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp)

発起人／野村直樹、古賀弘之、服部裕規